

総合図書館 清教リブラリア

2014 年度 事業報告

- ・ 「学校図書館賞」大賞を受賞
- ・ 図書館振興財団の助成決定：デジタルアーカイブ化はじまる
- ・ スタディーホールに書架を増設：収納量 3000 冊増
- ・ 「図書館を使った調べる学習コンクール」高3 さん・ さん受賞
- ・ 学級文庫「すくどの本」を中学各教室に設置：3000 冊が読まれる

清教学園中・高等学校 図書館教育

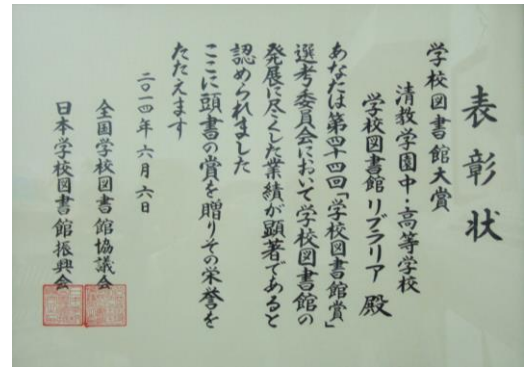
2015 年 4 月 22 日

I トピックス

① 学校図書館賞大賞を受賞

学校図書館賞（全国学校図書館協議会主催）は、学校図書館のいっそうの発展を図るため、学校図書館の振興に著しい業績を示した個人および団体を顕彰するものです。

清教学園ブラリアは第 44 回 学校図書館賞において、4 回目 11 年ぶりの大賞を受賞しました。受賞理由としては 2013 年に発行した『「なんでも学べる学校図書館」をつくる』、中学生のための『卒業研究の手引き』（校内刊行物）、「図書館を使った調べる学習コンクール」の受賞歴などがあげられました。表彰式は 2014 年 6 月 6 日東京のホテルフロラシオン青山で行われ、副賞 100 万円が授与されました。



11 年ぶりの学校図書館大賞を受賞

② 図書館振興財団の助成決定：生徒作品のデジタルアーカイブ化はじまる

公益財団法人図書館振興財団が公募する、平成 27 年度振興助成事業『調べる学習』推進活動に対する助成」に応募し、「学校図書館における『調べる学習』成果物のデジタルアーカイブ化事業」が認められました(助成額 111 万円)。

事業期間は 2015 年 4 月～2016 年 3 月であり、これまで蓄積してきた中学生の作品(卒業研究・ブックレット・スタディーポケット他)、高校生の卒業論文タラント等がデジタル化され、e ポートフォリオに合流する予定です。

2015 年 3 月 11 日には図書館振興財団常務理事の木下勝義氏が清教学園を訪れ、助成金の贈呈式が行われました。



財団理事から目録を贈呈される

③ スタディーホールに書架を増設：収納量 3000 冊増

増加する蔵書に応じて、スタディーホールに書架を増設しました。ホールを 2F 書庫として利用し、周囲を巡る形で 4,841 冊が分類順に収納されました。また、3F 書庫には 2,802 冊が収納されました。合計 7643 冊(全蔵書の約 15%)です。

2F ホールでは各種の全集を中心に、背表紙が見やすい収納が可能になりました。また、リブラリアカウンター前の階段を上った場所に郷土資料の書架を設置しました。さらに、また絶版になった岩波新書を中心とした新書類（約 900 冊）も納められています。教職員には開放していますので、是非ともご利用ください。

ちなみに、今回の書架の増設により、リブラリアの下階の開架も配置も変わり、サインも新しくなりました。



階段上に郷土資料の書架を設置



全集・新書等を分類順に収納

④ 図書館を使った調べる学習コンクール」高校3年A組 さん・ さん入賞

「第18回 図書館を使った調べる学習コンクール」(主催:公益財団法人 図書館振興財団)において、45期卒業生(高校3年A組) さんが『なぜ「オネエことば」は誕生したのか:性差が薄らいだ日本語が生んだ新たな自己表現ツール』で活字文化推進会議賞を、また同組の さんが『「ノリ」はいかにして生産・消費されるのか:ライブパフォーマンスの形態を比較して』で読売新聞社賞を受賞しました。このコンクールへの入賞は清教学園として7年連続12人目です。ちなみに入賞は応募作品全57,070点中、32作品でした。表彰式は、2014年2月28日に東京五反田の「ゆうぼうと」で開催されました。



読売新聞の取材を受ける
さん・ さん

図書館の資料を活用した論文を発表する「第18回図書館を使った調べる学習コンクール」(公益財団法人図書館振興財団主催、読売新聞社など後援)の「高校生」で、清教学園高(河内長野市)

3年の大西賢太郎さん(18)が「優秀賞・活字文化推進会議賞」を、同3年の細川佳実さん(18)が「同・読売新聞社賞」をそれぞれ受賞した。表彰式は28日に東京都内で行われる。

図書館を使った調べる学習コンクール 大西、細川さん優秀賞

大西さんの論文のテーマは「なぜ「オネエことば」は誕生したのか:性差が薄らいだ日本語が生んだ新たな自己表現ツール」(46ページ)。テレビや身の回りで、女性のような言葉遣いをする男性に疑問を持ったのが出発点という。論文では、「オネエことば」は男性が使う誇張された言葉とし、女生など



細川さんの論文は「「フリ」はいかにして生産・消費されるのか:ライブパフォーマンスの形態を比較して」(50ページ)。ライブに行くのが好きで、その動機を調べて歌ったり、体を動かす「フリ」が関係していると考えた。大学教授らへの取材を通して、「フリ」は「流れに乗る」ところから始まり、曲に合わせて歌ったり、体を動か

オネエ言葉 論じる

女性語に基づく紹介。一方、現代では、言葉の性差も薄れつつある、という点をアンケートなどのデータも交えて示した。大学教授への取材も行い、日本の社会が多様な性を認め始めたことが、オネエ言葉の誕生につながったと結論付けている。卒業後は大学の文学部に進む大西さんは「大学でも言葉の性差の研究を深めてみたい」と話している。

ライブのノリ考察

論文の内容を説明する大西さん(左)と細川さん(河内長野市の清教学園で) したりして、内的に気持ちいい状態「変身・快楽」などの段階を経て、作り出されると説明した。実際のライブと、ライブの映像を楽しむ「ライブビューイング」の会場に足を運び、商品として「フリ」が作り出され、消費される音楽業界の現状も論じた。細川さんは受賞は光栄。「フリ」についてのビジネスにかかわる研究をしてみたい」と意気込む。

受賞した さん・ さんを報じる
読売新聞記事[大阪版]

2015年(平成27年)2月20日(金曜日) 言葉 音 糸斥 声

B摂河京

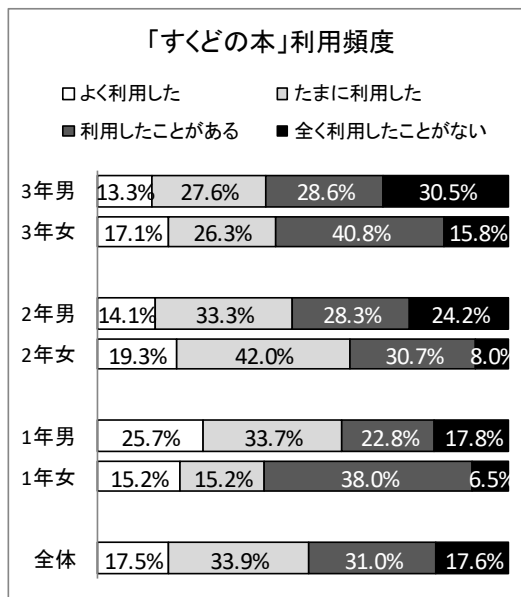
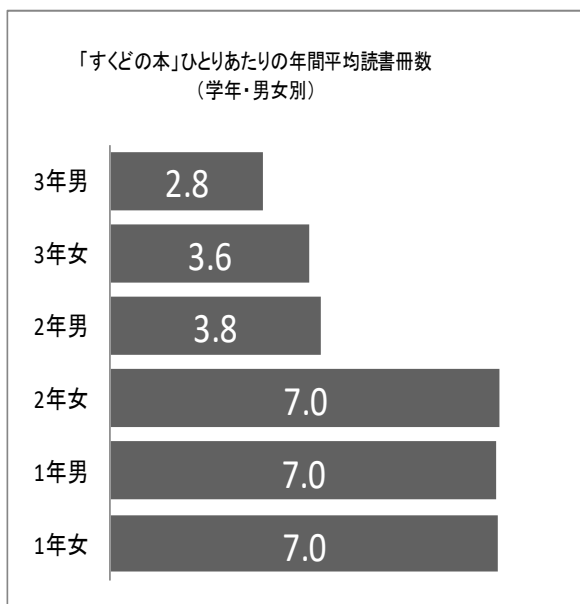
地域 30

⑤ 学級文庫「すくどの本」を中学各教室に設置：3000冊が読まれる

2014年4月、清教学園中学校の全15クラス(各学年5クラス)に、学級文庫「すくどの本」が設置されました。教室での読書、特に朝の読書の支援が目的です。15個のマガジンラックと225冊の本が用意され、定期考査ごとに各クラスを巡回しました(右写真)。

3学期末のアンケートを分析すると、1年を通じて約3000冊の本が読まれたことがわかりました。これは、生徒一人あたり年間4.8冊の読書の機会を提供したことを意味します。また「面白い本があった」「利用した」と答えた生徒が過半数を占めたことから、読書活動の活発化の効果が認められました。





II 施設概要

名称：総合図書館 清教リブラリア

所在地：〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel：0721-62-6828（内線 28, 29）HP：<http://www.seikyo.ed.jp/>

理事長:井上隆 理事:中尾恒夫 安達英行 中高・校長:森創
 チャプレン:井上良作 中学・副校長:森野章二 高校・副校長 内田靖
 中学・教頭:菊岡秀行 高校・教頭:安藤浩明
 図書館教育:片岡則夫(館長) 山根美智子(司書) 南百合絵(司書教諭)
 平井祐美子(非常勤司書) 滝澤聡子(非常勤スタッフ)
 ※滝澤は総合学習のサポートとして(昨年度までの担任に代わって)授業を担当

生徒数： 中学校 613 名 高等学校 1321 名 合計 1934 名 職員数 168 名

総利用者数 2102 名

学級数： 中学校 15 学級 高等学校 33 学級 合計 48 学級

設置： 2002 年 4 月（「総合図書館清教リブラリア」として現在の形で開館）

図書館：

床面積：約 256 m² カウンター 司書室を含む
 座席数：20 席 書庫（スタディーホール・ホール上）
 業務端末：6 台 生徒検索端末：2 台 無線 LAN

総合学習室：

床面積：約 98.2 m²
 座席数：48 席 生徒用 PC：48 台 教師用 PC：1 台 無線 LAN

Ⅲ 資料

蔵書数 : 51368 冊 (前年度 46599 冊・4769 冊増)

受入数 : 5361 点 (前年度 4854 点)

購入図書 : 4551 冊 購入視聴覚資料 : 0 点

寄贈図書 : 362 冊

遡及作業 : 14 冊 (バーコード貼付による登録資料)

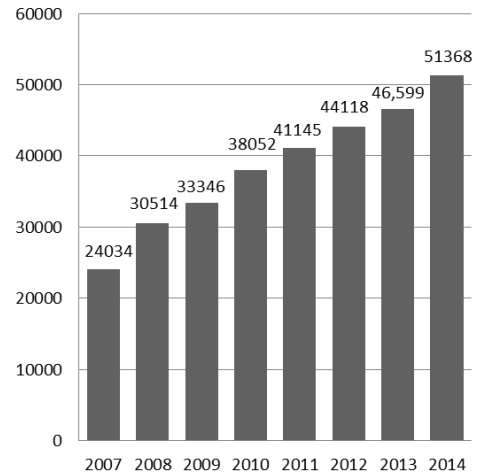
生徒作品 : 374 冊

平均単価 : 1368 円/冊

除籍数 : 1563 冊 (前年度 1286 冊)

※ 2F・3F の蔵書も見直し。雑誌含む。

蔵書数は 5 万冊を突破



リブラリアの蔵書数の推移

購入雑誌・新聞

購入雑誌タイトル (図書館 15 誌)

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	季刊かつくら	日経サイエンス	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	DAYS JAPAN	週刊東洋経済
ダ・ヴィンチ	オレンジページ	ナショナル・ジオグラフィック 日本版	

購入新聞

朝日新聞	朝日中学生ウィークリー (毎週日曜日)
Japan Times	Asahi Weekly (毎週金曜日)

2014 年度蔵書統計

1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	137	120	483	607	558	461	418	611	94	1034	28	4551
%	3.0	2.6	10.6	13.3	12.3	10.1	9.2	13.4	2.1	22.7	0.6	100

2. 購入視聴覚数 0 点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	5	20	24	29	29	15	6	25	27	107	75	362

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 62 点を含む

4. 教室設置用図書購入分（2014年度より設置の教室文庫「すくどの本」のため）

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	6	1	5	21	23	7	14	7	8	146	0	238

※ 英語の本 30 冊も主題の分類に含む

5. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	2	0	1	0	1	2	0	0	6	2	14

6. 生徒作品受入分

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	8	11	22	39	76	66	67	75	10	0	0	374

7. 総受入冊数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	153	153	530	685	673	547	501	711	138	1165	105	5361

8. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
生徒作品	32	29	80	175	233	208	211	220	24	15	0	1227
寄贈	172	308	460	583	539	149	105	379	344	3265	406	6710
蔵書 合計	1029	2947	4518	6073	6467	3747	3029	5643	1665	15019	1231	51368
%	2	5.7	8.8	11.8	12.6	7.3	5.9	11	3.2	29.2	2.4	100

9. 紛失図書

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164
紛失 (%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.30	0.30

年間紛失率=年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額約 25 万円

※これまでの紛失図書の累計値

10. 書庫別の蔵書数と割合

	1 F 開架書庫	2 F 閉架書庫	3 F 閉架書庫	全蔵書
冊数	43725	4841	2802	51368
%	85.1	9.4	5.5	100

IV 利用

開館時間 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 276日(前年度 267日)

授業利用時間数 年間約 450 時間

中学総合学習週 16 時間・高校探究週 4 時間, 聖書科・美術等随時

貸出方法・期間

貸出冊数：20 冊まで／ 貸出期間：14 日以内 ※長期休暇中は別に定める

利用者 1 人あたりの貸出冊数 [貸出密度]

全生徒 22.0 冊／年 (前年度 19.7 冊／年)

中学生 50.0 冊／年 (44.3 冊／年)

高校生 9.03 冊／年 (7.55 冊／年)

職員 20.46 冊／年 (11.0 冊／年)

開館日 1 日あたりの貸出冊数：167.7 冊 (前年度 155.7 冊)

蔵書 1 冊あたりの平均貸出冊数 [蔵書回転率]

(蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数)：0.90 冊(前年度 0.92 冊)

新しい本が図書館にどの程度入ったか [蔵書新鮮度]

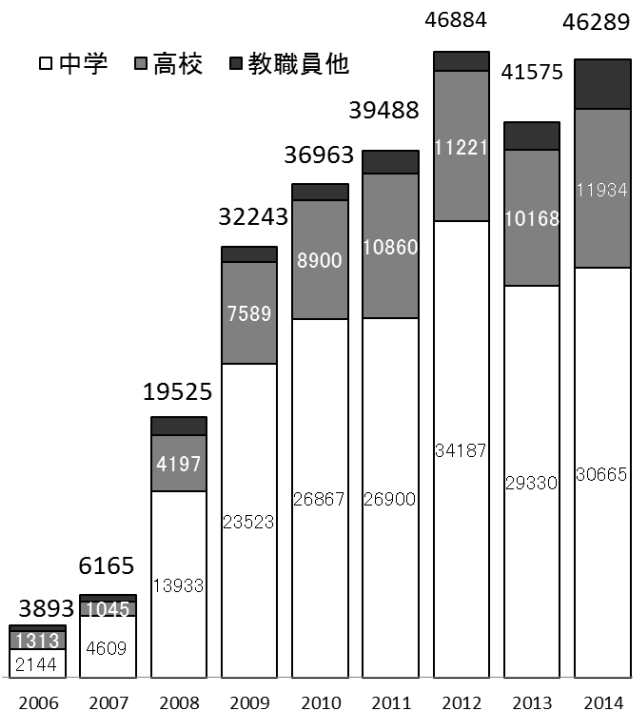
蔵書新鮮度＝その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100)：10.4%

※この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており、書架に新しい本が多い。

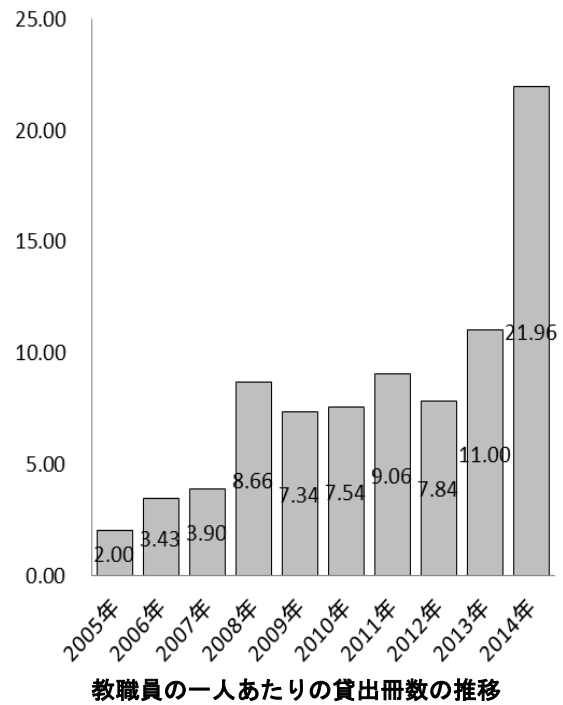
年間貸出統計

	中 1	中 2	中 3	中学生 貸出合計	高 1	高 2	高 3	高校生 貸出合計	職員	保護 者	教科他	総貸 出数	開館 日数	1 日平均	予約/ リクエスト
4 月	1323	628	975	2926	445	133	532	1110	180	22	0	4238	22	192.6	60
5 月	2247	883	1315	4445	238	140	624	1002	303	19	0	5769	24	240.4	122
6 月	1152	1989	1134	4275	207	128	774	1109	257	5	171	5817	25	232.7	192
7 月	1352	1004	786	3142	244	132	1007	1383	386	18	3	4932	24	205.5	145
8 月	517	506	204	1227	113	47	363	523	154	0	0	1904	24	79.3	24
9 月	1214	1496	1129	3839	194	249	960	1403	420	0	0	5662	23	246.2	119
1 0 月	1408	1442	741	3591	292	285	651	1228	496	0	0	5315	25	212.6	88
1 1 月	741	847	320	1908	269	581	383	1233	449	4	0	3594	23	156.3	81
1 2 月	714	376	232	1322	196	322	135	653	343	5	0	2323	23	101	63
1 月	809	570	261	1640	221	522	96	839	138	0	0	2617	21	124.6	52
2 月	511	598	177	1286	96	507	187	790	179	5	0	2260	17	132.9	66
3 月	396	581	87	1064	149	400	112	661	133	0	0	1858	25	74.3	55
集計	12384	10920	7361	30665	2664	3446	5824	11934	3438	78	174	46289	276	167.7	1067

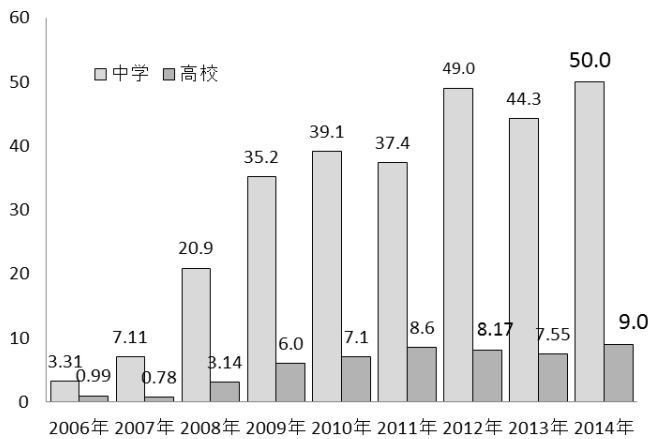
総貸出冊数は新記録を達成できず



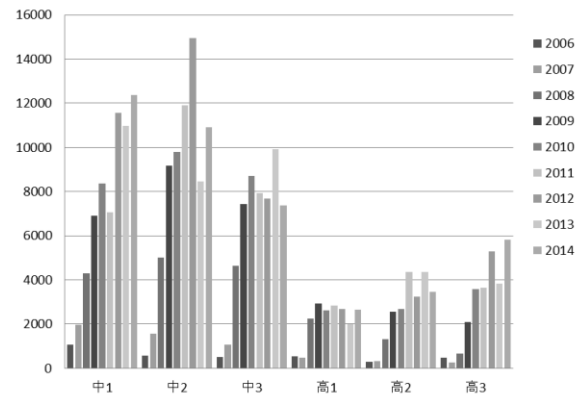
教職員の貸出冊数が倍増



一人あたりの年間貸出冊数
中学生 50 冊を突破



中学1年・高校3年が
最高値を記録



生徒一人あたりの年間貸出冊数の推移
2006~2014

各学年の貸出冊数の推移
2006~2014

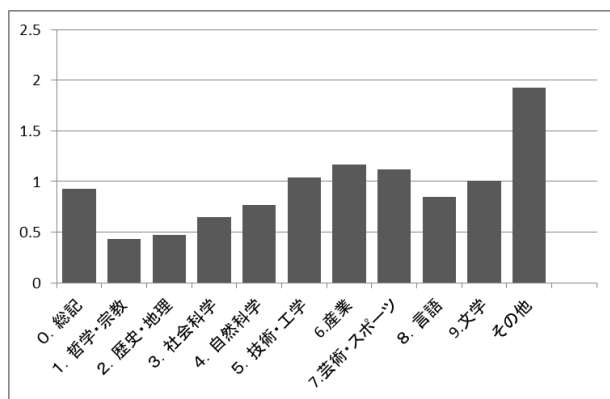
分類別貸出冊数の統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視聴覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出冊数	959	1256	2131	3946	5004	3927	3546	6344	1415	15173	204	74	1762	335	46076
回転率	0.93	0.43	0.47	0.65	0.77	1.04	1.17	1.12	0.85	1.01	1.93			0.90	

※ その他は他館からの借受本など。

※ 年次処理で貸出データを消去してしまったものがあるため、月別貸出冊数と合計が合っていない。

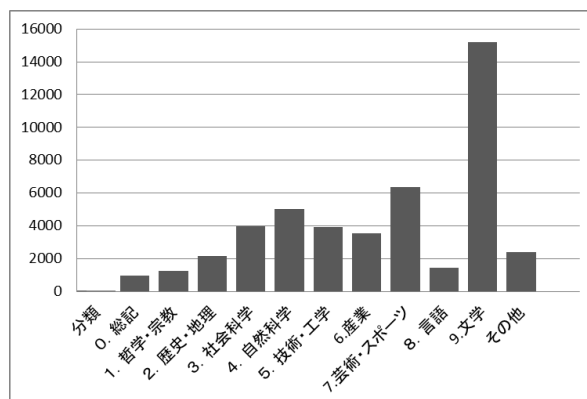
よく使われた技術・工学，産業，芸術



分類別の回転率

「その他」はまんが・絵本・視聴覚資料他を含む

文学に続き芸術・自然科学が貸出多数



分類別の貸出冊数

「すくど文庫」の蔵書と貸出統計

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本	合計
蔵書冊数	45	86	94	149	291	81	73	210	23	1583	65	2700
貸出冊数	45	114	38	88	192	42	96	174	41	3279	6	4115
回転率	1	1.33	0.4	0.59	0.66	0.52	1.32	0.83	1.78	2.07	0.09	1.52

「すくどの本」(学級文庫)の利用統計

提供規模：各教室 15 冊 (年度当初は 14 冊) 合計 225 冊

読書冊数：のべ 2923 冊・年 4.8 冊/人 (3 学期末のアンケート調査による)。

1 年多く，学年が上がるにつれて読書量が減ってゆきます。

男子 1377 冊，女子 1546 冊

詳しくは報告書を参照ください。

複写申請数 295 件 (昨年度 262 件)

他館借受本 約 1692 冊 (昨年度約 2055 冊) 河内長野図書館他

予約率 (予約数÷貸出冊数×100) : 3.65 % (昨年度 2.67%)

図書館登校生徒：年間利用日数：約 240 日

中学生 5 名：教育相談室に登校する生徒を待つ保護者 1 名。

高校生 3 名：終礼前の時間調節

留学生 6 名：空き時間をリブラリアで課題・PC 利用等で過ごす。

1 清教学園リブラリア『「すくどの本」実践記録：学校図書館から学級文庫へ』2015，清教学園

V 2014年度の記録

「図書館だより」と特集展示(主に窓際のテーブルで)

[2014年]

4月16日「図書館便り」(担当平井) イースターを覚えて関連資料、世界の祝祭日の資料、アーミッシュの資料

5月10日「図書館便り」(担当片岡) 中学校63期卒業研究優秀作品

6月18日「図書館便り」(担当南)「時・とき」をテーマに関連図書

7月7日「図書館便り」(担当田邊) 星座・日本のしきたり・和の心などに関する本を展示。

9月1日「図書館便り」(担当滝澤) 1日のルイ14世の昇天日に因み彼とヴェルサイユ宮殿に関する資料

10月6日「図書館便り」(担当山根) 秋の読書週間。ハロウィンに関する本

10月6日 中1校外学習(キッサニア) 事前学習のため「仕事」に関する本
各クラスにも貸出

11月1日「図書館便り」(担当平井) 昨年11月からの一年間に亡くなった作家・詩人・歌人・俳人・編集者の作品

11月 6mのクリスマス・ツリーを購入リブラリア吹き抜けに設置。

12月1日「図書館便り」(担当山根) クリスマス特集。

12月 「追悼 香月日輪」(コピー機横)

[2015年]

1月10日「図書館便り」(担当片岡)「漫画で学ぶ」をテーマに展示。

1月23日 全蔵書点検に伴い除籍本の検討と譲渡を開始

2月12日「図書館便り」(担当平井) 戦争とテロリズムを特集

3月11日コーナー展示「追悼：松谷みよ子」

3月16日「図書館便り」(担当南)「詩と短歌：短い言葉で思いを伝える」



LED輝く高さ6mのツリー

年度を通じた活動(通常業務以外)

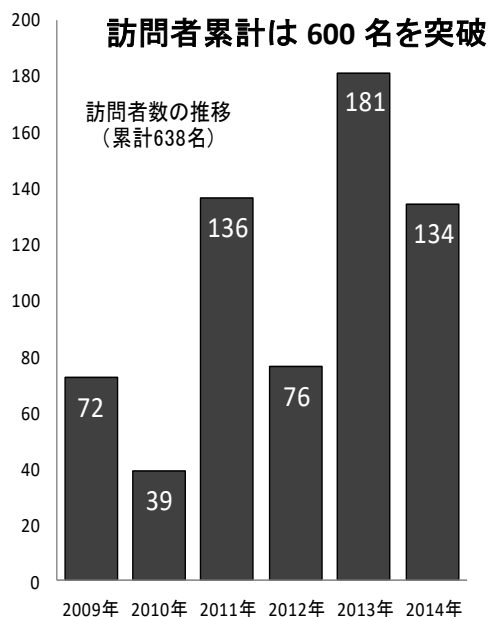
- ・未登録の本・雑誌・CD・DVDの登録作業(遡及作業)を継続
- ・登録バーコード位置統一作業(貸出・返却作業、蔵書点検作業の効率化をはかるため)
- ・図書委員会の活動：「書架整理係」を中心に実施
- ・留学生の自習スペースとしての利用(コンピュータの貸出等)
- ・カウンセリングルームと連携し生徒の居場所提供(カウンセリング協議会への参加)
- ・「新着図書のお知らせ」の配布：教職員、各クラス、河内長野市立図書館にも配布・掲示
- ・階段横壁面を利用して、原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示
- ・寄贈本の受入：職員・生徒・関係者からの寄贈本が増加。登録作業継続
- ・書架の移動と分類サインのリニューアル
- ・図書館入り口に下駄箱を設置

行事

- 4月 高校1年生全クラスに対して利用案内を実施（教科情報の1時間を利用）。
- 5月 第1回リブラリアクイズ（担当南）参加者6名 全問正解者5名
- 7月 第2回リブラリアクイズ（担当山根）参加者14名 全問正解者11名
- 9月 文化祭 教室の電子黒板でリブラリアの様子をスライド・ショー。
- 10月 第3回リブラリアクイズ（担当平井）参加者36名 全問正解者36名
- 12月 第4回リブラリアクイズ（担当滝澤）参加者11名 全問正解者11名
- 12月15日 リブラリア・クリスマス 参加者27名（礼拝・リースづくり）

訪問者（敬称略・[]内は来館目的）計134名

- 4月9日 （株）NSD ビジネス開発本部 氏 [読書支援ソフトのヒアリング]
- 5月30日 三重県立上野高等学校 氏（本校卒業生）・三重県立四日市西高等学校 氏 [中学総合学習・高校探究授業見学]
- 6月26日 島根県安来市学校図書館活用研修会から13名見学[見学]
- 7月10日 ドリスキル先生のご子息 来客3名 学校関係者5名[見学]
- 7月18日 図書館教育研修会 氏[図書館教育研修会講師・見学]
- 9月25日 鳥取県立鳥取西高等学校 氏[見学]
- 10月9日 三省堂大阪支社 氏[NRI学生小論文コンクール取材]
- 10月17日 筑波大学附属駒場中高等学校教諭 氏[探究科取材・見学]
- 10月24日 三重県立上野高等学校 氏他7名[総合学習・探究科取材・見学]
- 11月17日 児童図書館研究会近畿支部 氏 他4名[見学・研修会]
富田林おはなしの会 氏他4名/川西おはなしの会 氏
交野市立星田小学校・妙見坂小学校 柳浦有紀/交野市立第2中学校 氏
- 12月17日 和歌山市開智中・高等学校 氏3名[総合学習取材・見学]
- 12月23日 京都橘中・高等学校 氏[総合学習取材・見学]
- 1月16日 関西大学教授 氏 東京学芸大学 氏（eポートフォリオ研究者）[探究科・総合学習取材・見学]
- 1月20日 私立復旦高級中学（台湾）から生徒35名 引率教員3名 通訳ガイド1名[見学]
- 1月23日 鎌倉女子大 氏[見学]
- 1月29日 武庫川女子大 氏[見学]
- 1月30日 桐原書店事業開発局 氏 他2名[見学]
- 2月3日 （有）関西教育考学 氏[見学]
- 2月4日 （韓国）新羅大学学生11名 教師1名 釜山外国語大学 教師1名[見学]



- 2月6日 ノートルダム女学院 中高等学校 氏 他3名[見学]
- 2月12日 島根県 松江市立東出雲中学校 氏、 氏 [総合学習取材・見学]
- 2月18日 読売新聞編集局社会部 氏 [高3A さん・ さんコンクール受賞取材]
- 3月4日 関西大倉中・高等学校 国語科 氏 [総合学習取材・見学]
- 3月11日 図書館振興財団 常務理事 氏 ほか2名 [図書館振興財団研究助成金贈呈式]
- 3月12日 文部科学省国立政策研究所 氏 氏 (株)NSDビジネス開発本部長 氏ほか5名 [文部科学省委託研究「多様な学習成果の評価手法に関する評価研究」視察]
- 3月26日 学校法人日生学園第二高等学校 氏 青山高等学校 氏[探究科取材・見学]

雑誌・新聞記事・寄稿等

・「清教学園リブラリア『生徒の使いたい本はこれ！調べ学習に役立つブックガイド：清教学園リブラリアの本棚から』「セドック」(少年写真新聞社 Web サイト), 2014年4月～2015年3月 [第67～78回, 計12回の連載] [執筆：南]

http://sedoc.ne.jp/sample/2011book_use/index.html,

・「なんでも学べる学校図書館が探究学習を支える(1)(2):清教学園中学校の総合的な学習の時間の実践から」『学校図書館』全国学校図書館協議会 2014年9・10月号 [執筆：片岡]

・「ようこそ！学校図書館へ」『としょかん通信』全国学校図書館協議会 2014年4月号

・『入学時から始める読書生活の習慣化：学校図書館と学校司書の役割』(文科省委託研究資料)の送付
 島根県松江市教育委員会 氏 40部 / 調べ学習研究会 氏 30部
 千葉県袖ヶ浦市学校図書館支援センター 氏 30部
 東京都杉並区立済美教育センター 氏 40部
 東京都稲城市学校司書研修 氏 40部
 神奈川県大和市教育委員会 氏 40部

・「学びたいことをなんでも学べる学校図書館」『未来ポシェット』2014年12月 vol.7 冬号

外部講師等(開催日・主催者・講座テーマ)・会場)

- ・2014年8月8日・23日 大阪府熊取町立熊取図書館「調べる学習応援講座2」
- ・2014年8月11日 図書館振興財団「地域に広めよう！図書館を使った調べる学習：指導者育成のための体験講座」会場東京都立日比谷図書館
- ・2014年8月18日 島根県立飯南高等学校「探究的な学びと学校図書館」
- ・2014年10月30日 図書館振興財団「画用紙一枚からはじめる調べ学習」大阪府立中央図書館
- ・2014年12月8日 岡山県高教研学校図書館部会「学べる・読める学校図書館をつくる」岡山県立倉敷工業高校
- ・2015年1月7日 枚方市立桜丘小学校「本との出会い・探究的な学び」
- ・2015年1月28日 国会図書館「レファレンス協同データベースフォーラム」国会図書館関西館

印刷物



『としょかん通信』でリブラリアがポスターに
(リブラリア前に掲示中)

- ・2014年4月1日『すくど文庫リスト：中学66期 総合的な学習の時間』（中学1年用）200部
- ・2014年4月1日『総合図書館 清教リブラリア事業報告2013』200部
- ・2015年3月8日『卒業研究の手引き2015』（中学3年用テキスト）250部
- ・2015年3月20日『タラントン2014：連携コース卒業論文』（探究科卒業論文要旨集）200部
- ・2015年3月20日『作者に手紙をさしあげよう』（中学総合学習実践記録）20部
- ・2015年3月20日『「すくどの本」実践の報告』（リブラリア実践記録）50部

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第18図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催：公益財団法人 図書館振興財団

優秀賞・活字文化推進会議賞（高校生の部）

さん『なぜ「オネエことば」は誕生したのか：性差が薄らいだ日本語が生んだ新たな自己表現ツール』

優秀賞・読売新聞社賞（高校生の部）

さん『「ノリ」はいかにして生産・消費されるのか：ライブパフォーマンスの形態を比較して』優良賞（優秀賞は募作品全57,070点中、32作品でした。）

優良賞（全83作品）…最終審査作品

さん『竹の時代再び来るか?：資源として活用するために』（中3D）

さん『フランスの学校はなぜ面白いのか：日本と比較して』（高3A）

さん『100円ショップは生き残ることが出来るのか：経済状況と消費者の購買意識の変化から』（高3A）

さん『リアルマネキンが招く：マネキンはどこから来てどこへ行くのか』（高3A）

奨励賞（全158作品）…3次審査通過作品

さん『スクールカーストとは何か：生徒の序列意識を小説から読み解く』（高3A）

佳作（全765作品）

さん『蝸牛読本：出ん出ん虫々、蝸牛たち』（中3B）

さん『城を攻める：日本、西洋・ユーラシア大陸で結ばれた二つの世界』（中3E）

さん『未成年者の実名報道は必要か：少年法からみて』（高3A）

コンクールの応募総数は過去最高の57,070作品点でした。高校の部の応募は975点、中学の部の応募は14,792点でした。入賞作についての詳しい情報は「図書館を使った調べる学習コンクール」のホームページで。

VI 課題

① 利用者のマナーと安全：巡回により改善はみられるものの課題は残る

昨年度同様「利用者のマナーと安全」が課題です。死角になる本棚の間にたむろしたり、はしゃいだりする生徒に注意を払うため、本年度は曜日ごとに当番を決めて昼休みの巡回を行いました。

巡回の効果があって、事故や極端ないたずらはみられなくなりました。とはいえ、昼休みにはやはりのべ約 100 名近い生徒が訪れ、カウンターには絶えず貸し借りの生徒がいることから、二人体制のカウンター業務に加えての巡回は簡単ではありません。一方、見通しをよくするために広角ミラーの購入をしましたが取付には至っていません。

図書館の居心地がよくなり魅力が増せば、利用者は増えます。その一方で、様々な生徒を招くことにもなります。特に雨天時や酷暑の時期、自習時間の合間などは本が目的ではなく寒暖を避けたり時間をつぶしたりするために図書館を訪れる生徒が増えます。

利用マナーの指導とともに、本棚の配置等、図書館の設計の見直し、さらには一部の学校図書館で見られるようになった監視カメラシステムの導入、中学生向けのラーニングコモンズの設置等を考えるべき局面に来ていると思われます。

② 高校生の利用率の低さ：高校 1 年生へのガイダンスの効果あり

中学生の貸出冊数がひとりあたり年平均 50 冊に対して、高校生は約 9 冊でした。高校生の利用率が低い傾向はこの 9 年一貫して見られます。

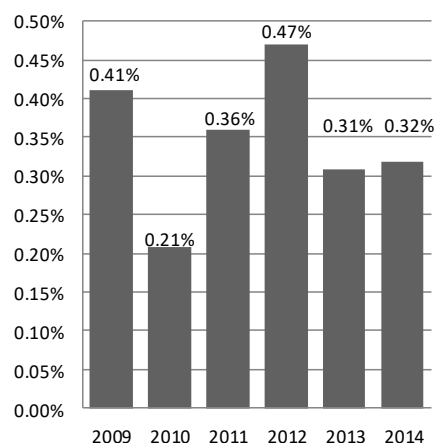
理由の第一は図書館の位置にあります。高校生の生活動線上に図書館がないため、中学で図書館利用を身につけた 6 年コースの生徒も、高校入学後、縁遠くなってしまいます。特に教室の遠い高校 1・2 年生にとって来館は難しいようです。第二の理由として授業における利用時間の少なさも高校生の貸出低調の理由と考えられます。

こうした傾向を改善するために、本年度は高校新年に対して利用案内を実施しました。教科情報の 1 時間を利用していただきました。この結果、3 年コースの 1 年生の利用が 2003 冊から 2664 冊へと 661 冊の増加がみられ、高校生全体の年間貸出冊数も 7.55 冊から 9.03 冊へと増加しました。今後、高校生の校内動線上への返却ポストの設置も検討中です。

③ 紛失図書問題：紛失率は横ばい

紛失図書の総数が本年度は 164 冊（昨年度は 144 冊）と増加しました。蔵書数に対する紛失数の割合、図書紛失率は 0.3% であり横ばいとはいえ依然として 100 冊を超える状態が続いています。新年度になって所在が確認される図書も少なくないのですが、紛失した理由としては貸出手続きをしないまま持ち出したものが多数を占めると予想されます。

こうした状況は公共図書館の紛失率（約 1.33%）に比べて低い



紛失率の推移

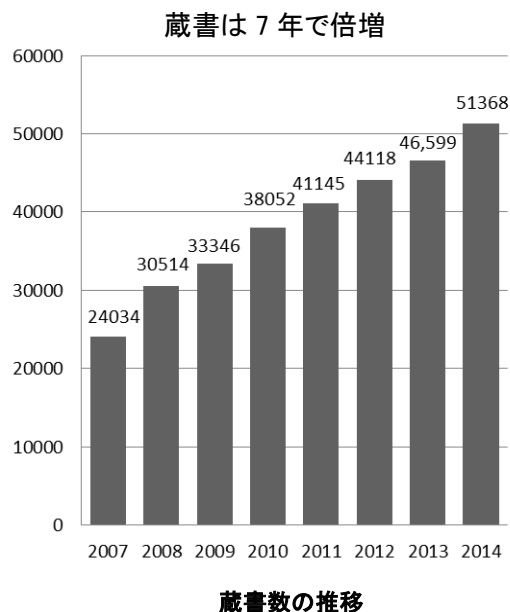
ものの²、利用指導の徹底が必要です。また、IC タグによる蔵書管理の可能性を検討しています。

④ スペースの限界

本年度リブラリアの蔵書数は 5 万冊の大台を突破しました。7 年をかけてほぼ倍増したことになります。一方で、トピックで紹介したように書架の容量はスタディーホールの書架増設によって約 3000 冊分増えました。

今年度末は書架の増設もあり、すこし息がつける状態が訪れました。しかし、1563 冊の除籍を行っても、蔵書は 4769 冊の増加となったことから、スペース限界は時間の問題です。

今後リブラリア近辺に移動式の書架（書架床面積当たり約 2.5 倍の収納効率）を導入する空間を探し、書庫の拡張を検討したいと思います。



⑤ 延滞者対策

返却期限にルーズな生徒が増えています。中学生は「総合の資料でまだ使っているから」、高校生は「返却に来るのが面倒」といった理由から、期限を超過しても返却をしないようです。

これまでも、担任を通じて連絡をしていましたが、負担も大きく迷惑をかけていました。そこで、賛否はあったものの、「1ヶ月以上の延滞の生徒には新たな資料の貸出はしない」というペナルティを設けました。真面目に期限を守る生徒や、返却されない資料を予約して待つ生徒の状況を鑑みて、2014年4月から実施をしました。幸い大きな混乱もなく、返却期限を意識する生徒も増えてきました。次年度も継続の予定です。

² 歳森ほか「公共図書館におけるブックディクテクションシステムの設置効果」『日本図書館情報学会誌』Vol.46, No.1, March2000, p.33 比較できる学校図書館の紛失率の調査は見つかりませんでした。

L I B R A R I A

SEIKYO

総合図書館 清教学園ブラリア
2014 年度事業報告

発行日：2015 年 4 月 20 日

著者：清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本：清教キャンパス

連絡先：〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。